



トレーディングカード・マーケット

北陸銀行 国際部
 ニューヨーク駐在員事務所
 内間 洋子

今年8月、MLBPA(メジャーリーグベースボール選手会:選手らが加盟する労働組合で、選手の肖像権も管理している)が70年に渡りベースボールトレーディングカード制作販売の契約を結んできたThe Topps Company, Inc.との契約更新を今後行わないと発表し話題となりました。

MLBPAと新契約を交わしたのは、スポーツ関連グッズの製造販売とオンラインECサイトの運営を手がける新興企業Fanatics, Inc.で、MLBに支払う契約金はTopps社の数倍と言われています(Topps社への2020年の支払額は約21億円)。Fanatics社のハイテクによるスピーディーで幅広い事業内容がMLBPAの株主達の望みと一致した結果だそうです。

コロナ禍、時間を持て余した人々が子供のころ集めていたカードを押入れから引っ張り出し、オンラインオークションで売ることが流行り、今年6月には1914年のベーブ・ルースのカードが約6億6,000万円で個人により落札されました。そのカードはCollectable Technological, Inc.の投資プラットフォームを通して1株約330円で証券化され、株主を募集することになりました。330円で史上最高値のついた貴重なカードの共同所有者になれば、さらに高値が付けば配当も付くという新ビジネスです。また、大谷選手の2018年ルーキーカードも既に高額で取引されており、直筆サイン入りで1枚限定デザインのもは当時2,000万円を超える値段で取引されました。

アメリカほどではありませんが、日本でも野球カードは一定の人気があり、引き出しの中に眠っている「子供のころの思い出」にも思い出以上の価値があるかもしれませんね。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものであり、特定の商品の勧誘や売上の推奨を目的としたものではありません。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076) 254-6500 FAX: (076) 254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp